

令和 4 年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）  
研究成果等概要報告書

|            |                                             |
|------------|---------------------------------------------|
| 研究テーマ名     | 世界の食料供給体制の変化と日本の食料安全保障に関する研究                |
| 政策研連携研究課題名 | 食料のグローバルチェーンにおける周辺から中心への変容を試みる南米地域の実態に関する研究 |
| 研究実施期間（西暦） | 2022年度 ～ 2023年度（2年間）                        |
| PO         | 林 瑞穂                                        |

## 1 研究の進捗状況等

### ① 理論的枠組みに関する研究

本研究におけるキーコンセプトである「フードレジーム論」に関するこれまでの議論の経緯と現状について、2022 年 11 月に開催されたアジア政経学会秋季大会自由応募分科会において『大豆の政治経済学－東アジアとブラジルを軸とする考察－』として、連携先である神戸大学の八木准教授と横浜国立大学の張准教授とともに発表。また、今後、大豆の政治経済学に関する書籍出版のための論文執筆に取り組み中。

### ② 韓国的大豆関連産業に関する研究

大豆・大豆粕・大豆油の3つに区分し、それぞれの分野における国内生産と輸入状況について分析を実施中。また、日本・台湾・中国などの東アジア諸国との比較を通じて、1970 年代以降の韓国における大豆需給構造の変化について考察を実施中。

### ③ ブラジル農業セクターに関する研究

2023 年 1 月 27 日から 2 月 10 日まで、ブラジルに出張。現地の穀物事業に携わる日系商社や、食肉会社を訪問し、穀物事業の現状や食肉バリューチェーンの実態把握を行った。そのほか、Non GMO 大豆に係るフードシステムについて、現地大手トレーダーや生産者団体に聴取を実施。今後、Non GMO 大豆に関する論文執筆に取り組む。

（注 1）全研究期間をととしての研究全体の進捗状況を 5 行程度で簡潔に記載し、当該年度に研究を実施した研究項目ごとの進捗状況を 3～5 行程度で簡潔に記載すること。

（注 2）学会発表、論文発表等成果の公表状況（リスト）を添付すること。

（注 3）農林水産政策研究所のホームページで公表するため、未公表データや知的財産等に関する事項については、十分に注意して作成すること。また、公表できる内容のみを記載すること。